

将来の選択肢が広がる法律系国家資格!

行政書士講座

国家
資格

担当スクール **資格の大原**

試験概要

受験資格

全国合格率

制限なし

12.90%
(2024年度)

募集要項

※開講時期・開講期間・受講料・受講形態は変更になる場合があります。詳細は「神大で資格」ホームページでご確認ください。

神大で資格ホームページ

申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶

講義日程を必ずご確認ください



講座名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料※教材費込	
					基本	一般
行政書士	10月	オンデマンド	7月15日(火)~9月	10月~26日10月	66,000円	77,000円

※教材はデジタル教材となります。

申込方法はP.28へ

学習スケジュール(開講期間)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							行政書士					

行政書士とは

行政書士は法律系の国家資格で、法律知識をフル活用して顧客をトータルサポートする専門家です。顧客の代理人として、官公署へ提出する書類の作成や許認可申請の手続をはじめ、どのようにすれば許認可などを受けられるのか、トラブルを未然に防ぐことができるのか、といったさまざまなコンサルティング業務も行います。幅広い専門知識を活かし、多様なフィールドで活躍できることから、例年学部を問わず学習する学生が多いのも特徴のひとつです。また、将来公務員を目指そうと考えている1・2年生が学習項目の重複を活かした先取り学習に行政書士を活用するケースもあります。



ビジネス・法律

行政書士で学習した内容がそのまま公務員の学習に活かせます!

行政書士で学習する「憲法・行政法・民法・商法」などの内容は、公務員試験において法律系の専門科目と重複しています。また、基礎知識では「一般知識・文章理解」などが公務員の教養試験対策につながるため、1・2年生から学習することで、公務員対策にも役立ちます!

公務員を目指して計画的に学習しよう!

	1年生	2年生	3年生	4年生
1年生からスタート		行政書士 公務員 2年生コース		公務員 3年生コース
2年生からスタート		行政書士 公務員 2年生コース		公務員 3年生コース

行政書士試験と公務員試験の関連性

【行政書士試験】※2024年度

試験科目		配点(構成比)	重要度
法令等	憲法	28点(約9%)	★★★★★
	行政法	112点(約37%)	★★★★★
	民法	76点(約25%)	★★★★★
	商法	20点(約7%)	★
基礎知識等	基礎法学	8点(約3%)	★
	一般知識	20点(約7%)	★★★
	諸法令	8点(約3%)	★
	情報通信・個人情報保護	16点(約6%)	★★
	文章理解	12点(約4%)	★

合計 300点(100%)

【公務員試験(1次試験)】

試験科目		配点	重要度
教養科目	数的処理		★★★★★
	文章理解		★★★★★
	社会科学(政治、経済、社会)		★★★★★
	人文科学(日本史、世界史、思想等)		★★★
	自然科学(物理、化学、生物等)		★★
専門科目	法律系科目(憲法、行政法、民法)		★★★★★
	経済系科目(ミクロ経済学、マクロ経済学等)		★★★★★
	行政系科目(政治学、社会学等)		★★★
	その他(教育学、心理学等)		★

●法律系科目(憲法、行政法、民法)の関連

(共通)学習範囲および問われやすい論点がほぼ共通
(共通)出題形式が主に五肢択一形式であり共通
(相違)行政書士試験は結論重視の問題が多い、公務員試験は根拠が問われる問題が多い
(相違)行政書士試験は絶対評価(難易度が高くても合格基準点に到達する必要あり) 公務員試験は相対評価(難易度が高い場合は正答率が低くても合格可能)

●基礎知識等(文章理解、一般知識)の関連

(共通)出題形式が主に五肢択一形式であり共通
(相違)公務員試験の方が学習範囲が多く、難易度も高い

Point
1

行政書士講座を1・2年生から受講することで、憲法・行政法・民法の先取り学習ができ、公務員試験の「専門科目(法律系科目)」が有利になるため、公務員試験対策時に他の科目にも学習時間を充てることができます。

Point
2

公務員試験は根拠を求められることが多い試験です。行政書士で憲法・行政法・民法を学習していく際は、結論のみならずその根拠まで考えた学習を行いましょう。

Point
3

基礎知識などは公務員試験ではより難易度が高くなりますが、行政書士講座を受講していれば公務員講座の内容も理解しやすくなります。